

平成 27 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2015

Date: 2016 年 3 月 25 日

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパⅡ講座・教授
氏名 Name	田邊 欧
専門分野 Academic Field	北欧文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	1 カーアン・ブリクセン文学における《反復》《逸脱》《交錯》の表象に関する研究：相対化される物語言説をめぐって 2 「死の記号」としての「鳥」：北欧文学のローカリズムに関する文化表象研究
<p>本年度は主に以下の点から研究を遂行した。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. カーアン・ブリクセン文学における《反復》《逸脱》《交錯》の表象に関する研究：相対化される物語言説をめぐる研究においては、物語のなかで繰り返し再現し、《反復》されるテーマの一つとして「死」を提示し、さらに登場人物の「死」が物語時間と物語空間に《逸脱》と《交錯》をもたらすことを、2015年10月24日に北ヨーロッパ学会において「カーアン・ブリクセン『冬物語』(1942)における病の表象―「ペーターとローサ」にみる物語芸術としての「死」と題し、研究発表を行った。この物語作品が今後他の物語のなかにおいてどのように相対化されていくのかを引き続き研究の対象とした。</li><li>2. 平成 27 年度の科研申請テーマ：「死の記号」としての「鳥」：北欧文学のローカリズムに関する文化表象研究のための資料の検索と収集にあたった。</li><li>3. デンマーク語専攻 50 周年記念行事の一環として執り行なわれた学術交流シンポジウム「日本語話者にデンマーク語・デンマーク文化を教えるということ ～ その教授法をめぐって」を企画、シンポジウム後に行われたワークショップ「外国人のための新デンマーク語教授法をめぐって」に参加した。</li><li>4. 学外での講演会 2015年9月12日、日本児童文学会・日本イギリス児童文学会・中部支部例会において、「アンデルセンとおとぎ話の発見」と題する招待講演を行った。</li></ol>	